



## 2025年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月14日  
東

上場会社名 ペイクラウドホールディングス株式会社 上場取引所  
コード番号 4015 URL <https://www.paycloud.inc/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾上 徹  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 副社長 (氏名) 井上 浩毅 (TEL) 03-5414-3666  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年8月期第1四半期の連結業績(2024年9月1日~2024年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		調整後EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する四半期 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期第1四半期	2,342	125.4	287	139.6	151	201.6	149	222.9	65	—
2024年8月期第1四半期	1,039	△16.6	120	45.0	50	—	46	—	△1	—

(注) 包括利益 2025年8月期第1四半期 62百万円( —%) 2024年8月期第1四半期 △3百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2025年8月期第1四半期	円 銭 4.13	円 銭 4.04
2024年8月期第1四半期	△0.16	—

- (注) 1. 2024年8月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失のため、記載しておりません。  
2. 調整後EBITDAは、営業利益と減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)及び株式報酬費用の合計額となっております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年8月期第1四半期	百万円 8,448	百万円 4,350	% 50.5
2024年8月期	8,262	4,215	50.2

(参考) 自己資本 2025年8月期第1四半期 4,268百万円 2024年8月期 4,147百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年8月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2025年8月期	—	—	—	—	—
2025年8月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年8月期の連結業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

（%表示は、通期は対前期増減率）

	売上高		調整後EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する当期 純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	31.3	1,000	38.6	500	48.0	—	—	—	—	—

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無  
 当社グループは、「売上高」、「調整後EBITDA」及び「営業利益」を経営戦略上の重要な指標であると捉えていることから、「経常利益」及び「親会社株主に帰属する当期純利益」については、2025年8月期の連結業績予想は非開示としております。そのため、「1株当たり当期純利益」についても非開示としております。

※ 注記事項

- （1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
 新規 一社（社名）— 、除外 一社（社名）—
- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年8月期1Q	15,884,608株	2024年8月期	15,717,908株
② 期末自己株式数	2025年8月期1Q	25,731株	2024年8月期	25,731株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年8月期1Q	15,782,203株	2024年8月期1Q	11,861,473株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計方針の変更)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、個人消費の拡大やインバウンド需要の増加等により経済活動の緩やかな持ち直しの動きが見られましたが、ウクライナ情勢の長期化、中東地域での紛争、中国経済の停滞、不安定な為替相場に加え、引き続き価格転嫁による物価の上昇が見込まれる等、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましては、2024年3月1日付で株式会社クラウドポイントの完全子会社化及び純粋持株会社体制への移行後、各事業会社が共通顧客基盤に対するアプローチを積極的に行うことで、顧客獲得を進めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高2,342,530千円（前年同期比125.4%増）、営業利益151,780千円（前年同期比201.6%増）、経常利益149,784千円（前年同期比222.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益65,197千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,838千円）となりました。また、当社グループが経営戦略上の重要指標であると捉えている調整後EBITDA(\*)は287,867千円となりました。

(\*) 調整後EBITDAは、営業利益と減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）及び株式報酬費用の合計額となっております。

セグメントの概況は以下のとおりであります。

#### a. キャッシュレスサービス事業

「キャッシュレスサービス事業」については、連結子会社である株式会社バリューデザインにおいて、新サービス導入や既存顧客での独自Pay決済割合増加等で、業績は堅調に推移いたしました。キャッシュレスサービス事業の当第1四半期連結累計期間における顧客数は1,099社となり、累計エンドユーザー数は212,706千人となりました。また、当第1四半期連結累計期間における独自Payの決済取扱高は339,835,261千円と堅調に増加いたしました。

その結果、キャッシュレスサービス事業の当第1四半期連結累計期間における売上高917,681千円（前年同期比5.2%増、セグメント間の内部売上高71千円を含む）、セグメント利益174,291千円（前年同期比7.8%増）となりました。

#### b. デジタルサイネージ関連事業

「デジタルサイネージ関連事業」については、引き続きデジタルサイネージ導入需要が旺盛で、連結子会社である株式会社クラウドポイントにおいて、多店舗展開する既存顧客の導入進捗、商業施設への大型LED表示機及びオフィスへのデジタルサイネージ導入の効果で、業績は堅調に推移いたしました。また、当第1四半期連結累計期間におけるデジタルサイネージ累計設置面数は60,800面、累計設置箇所は27,060箇所、順調に増加いたしました。

その結果、デジタルサイネージ関連事業の当連結会計年度における売上高1,234,279千円、セグメント利益189,233千円となりました。

#### c. ソリューション事業

「ソリューション事業」については、連結子会社であるアララ株式会社の主要なサービスであるメッセージングサービスにおいて、新規顧客の獲得が順調に進み、業績は堅調に推移いたしました。当第1四半期連結累計期間における解約率は1.0%、取引社数は340社となりました。

その結果、ソリューション事業の当第1四半期連結累計期間における売上高191,189千円（前年同期比12.8%増、セグメント間の内部売上高2,079千円を含む）、セグメント利益74,847千円（前年同期比44.1%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は8,448,017千円となり、前連結会計年度末に比べ185,214千円増加いたしました。

このうち、流動資産は5,067,064千円(前連結会計年度末から233,001千円の増加)となりました。これは主として、受取手形、売掛金及び契約資産が190,573千円、棚卸資産が137,128千円増加した一方、現金及び預金が130,301千円減少したことによるものであります。

固定資産は3,380,952千円(前連結会計年度末から47,787千円の減少)となりました。これは主として、ソフトウェアが135,374千円増加した一方、のれんが64,641千円、顧客関連資産が15,075千円、ソフトウェア仮勘定が70,821千円それぞれ減少したことによるものであります。

### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は4,097,159千円となり、前連結会計年度末に比べ49,817千円増加いたしました。

このうち、流動負債は2,905,658千円(前連結会計年度末から102,232千円の増加)となりました。これは主として、買掛金が315,750千円、短期借入金が187,490千円増加した一方、未払金が51,660千円、未払法人税等が110,365千円、前受金が59,893千円、預り金が151,495千円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は1,191,500千円(前連結会計年度末から52,414千円の減少)となりました。これは主として、長期借入金が40,222千円、繰延税金負債が11,926千円それぞれ減少したことによるものであります。

### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は4,350,858千円となり、前連結会計年度末から135,397千円増加いたしました。これは主として、新株予約権の行使により資本金が29,151千円、資本剰余金が29,151千円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が65,197千円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年8月期の連結業績予想につきましては、2024年10月15日に公表しました「2024年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の「2025年8月期の連結業績予想(2024年9月1日～2025年8月31日)」に記載のとおりで、当該業績予想に修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,228,269	3,097,968
受取手形、売掛金及び契約資産	1,090,445	1,281,019
棚卸資産	375,379	512,508
その他	140,397	175,990
貸倒引当金	△430	△421
流動資産合計	4,834,062	5,067,064
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	11,659	11,171
工具、器具及び備品（純額）	43,056	39,699
リース資産（純額）	4,758	3,600
建設仮勘定	2,736	4,604
有形固定資産合計	62,210	59,075
無形固定資産		
のれん	2,259,295	2,194,653
顧客関連資産	472,350	457,275
ソフトウェア	238,335	373,709
ソフトウェア仮勘定	188,712	117,890
その他	726	721
無形固定資産合計	3,159,419	3,144,250
投資その他の資産		
投資有価証券	32,682	30,988
敷金及び保証金	113,951	113,736
保険積立金	11,781	—
繰延税金資産	40,309	24,588
その他	9,004	8,918
貸倒引当金	△620	△603
投資その他の資産合計	207,109	177,627
固定資産合計	3,428,739	3,380,952
資産合計	8,262,802	8,448,017

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	378,438	694,189
短期借入金	316,640	504,130
1年内償還予定の社債	36,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	387,731	376,417
リース債務	4,699	3,878
未払金	293,410	241,750
未払法人税等	203,005	92,640
前受金	357,124	297,230
賞与引当金	35,905	53,556
預り金	648,300	496,804
その他	142,169	125,060
流動負債合計	2,803,426	2,905,658
固定負債		
長期借入金	1,096,135	1,055,913
リース債務	522	—
退職給付に係る負債	2,623	2,880
繰延税金負債	144,633	132,707
固定負債合計	1,243,915	1,191,500
負債合計	4,047,342	4,097,159
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,021,779	1,050,931
資本剰余金	4,805,133	4,834,284
利益剰余金	△1,659,302	△1,594,104
自己株式	△13,195	△13,195
株主資本合計	4,154,415	4,277,916
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,212	△4,923
為替換算調整勘定	△3,207	△4,050
その他の包括利益累計額合計	△6,419	△8,974
新株予約権	67,464	81,916
純資産合計	4,215,460	4,350,858
負債純資産合計	8,262,802	8,448,017

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)
売上高	1,039,371	2,342,530
売上原価	492,058	1,403,998
売上総利益	547,313	938,531
販売費及び一般管理費	496,982	786,750
営業利益	50,330	151,780
営業外収益		
受取利息	336	861
受取配当金	—	150
為替差益	814	1,802
受取保険金	—	1,930
その他	220	422
営業外収益合計	1,372	5,165
営業外費用		
支払利息	4,950	6,839
その他	370	323
営業外費用合計	5,320	7,162
経常利益	46,381	149,784
特別利益		
新株予約権戻入益	—	6,870
特別利益合計	—	6,870
税金等調整前四半期純利益	46,381	156,654
法人税、住民税及び事業税	28,889	87,678
法人税等調整額	19,330	3,777
法人税等合計	48,220	91,456
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,838	65,197
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,838	65,197



四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,838	65,197
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△1,711
為替換算調整勘定	△1,362	△842
その他の包括利益合計	△1,362	△2,554
四半期包括利益	△3,201	62,643
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,201	62,643
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	キャッシュ レスサービス事 業	デジタル サイネージ 関連事業	ソリューショ ン事業	その他の 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	872,003	—	167,368	—	1,039,371	—	1,039,371
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	2,107	—	2,107	△2,107	—
計	872,003	—	169,476	—	1,041,479	△2,107	1,039,371
セグメント利益又は損 失(△)	161,708	—	51,943	△14,404	199,246	△148,916	50,330

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△148,916千円は、各報告セグメントに含まれない全社費用が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	キャッシュ レスサービス事 業	デジタル サイネージ 関連事業	ソリューショ ン事業	その他の 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	917,610	1,234,279	189,110	1,530	2,342,530	—	2,342,530
セグメント間の内部 売上高又は振替高	71	—	2,079	—	2,150	△2,150	—
計	917,681	1,234,279	191,189	1,530	2,344,680	△2,150	2,342,530
セグメント利益又は損 失(△)	174,291	189,233	74,847	△22,647	415,725	△263,944	151,780

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△263,944千円は、各報告セグメントに含まれない全社費用が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結会計期間より、2024年3月1日に行われた株式会社クラウドポイントとの経営統合に伴い、新たに「デジタルサイネージ関連事業」を展開しております。また、同日付で持株会社体制へ移行しており、当社グループの業績管理区分の見直しを行っております。これにより、当社グループの業容拡大に併せて新規事業等を「その他の事業」として識別しております。

この結果、従来、全社費用として「調整額」に含めて表示しておりました新規事業等に関する「外部顧客への売上高」、「セグメント間の内部売上高又は振替高」及び「セグメント利益又は損失(△)」の数値については、「その他の事業」として組み替えて記載しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	キャッシュレスサービス事業	デジタルサイネージ関連事業	ソリューション事業	その他の事業	
スポット売上	297,289	—	7,618	—	304,908
リカーリング売上	518,691	—	159,749	—	678,441
その他の売上	56,021	—	—	—	56,021
顧客との契約から生じる収益	872,003	—	167,368	—	1,039,371
外部顧客への売上高	872,003	—	167,368	—	1,039,371

当第1四半期連結累計期間(自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	キャッシュレスサービス事業	デジタルサイネージ関連事業	ソリューション事業	その他の事業	
スポット売上	214,824	1,106,316	13,225	1,500	1,335,865
リカーリング売上	643,997	105,132	175,884	30	925,045
その他の売上	58,788	22,830	—	—	81,619
顧客との契約から生じる収益	917,610	1,234,279	189,110	1,530	2,342,530
外部顧客への売上高	917,610	1,234,279	189,110	1,530	2,342,530

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却費は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	39,441 千円	45,783 千円
のれん償却費	29,563 "	64,641 "

(重要な後発事象)

該当事項はありません。